

平成28年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

1. 偏差値一覧

	小学校5年生						中学校2年生							
	国語		算数		理科		国語		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
宇佐市	54.2	52.4	54.8	53.5	53.6	52.9	52.3	51.1	51.3	51.3	51.1	51.0	49.6	49.9
大分県	52.5	51.6	52.4	52.4	52.1	51.1	51.3	49.8	50.3	50.4	51.4	50.6	49.9	50.2

2. 結果の概要と分析および改善策

小学校 国語

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年度課題が見られた「言語についての知識・理解・技能」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において改善が見られる。
- 「説明文や物語文の内容を読み取る」問題においてやや課題が見られる。
- ☆言語活動を設定した授業づくり、読書活動の推進、さまざまな図書資料を活用した授業の充実を図る。
- ☆漢字や語句、文法、表現技法等の確実な習得のための方策を学校全体で整え、実践していく。

小学校 算数

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 知識問題は、ほぼ目標値以上であるが、活用問題に課題が見られる。
- ☆問題解決的な学習（算数的活動）の充実により、自分の考えを表現したり、友だちに説明したりする力を育成する。
- ☆単元の中で既習の知識や技能を活用する場面を設定した授業を計画的に実施する。

小学校 理科

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年、一昨年と課題であった「物の体積と温度」は目標値を上回り改善が見られる。
- 「季節の動物の様子」「もののあたたまり方」等、自然との関わりに関する問題に課題が見られる。
- ☆児童の興味・関心を生かした課題の設定や、見通しを持って主体的に進める学習活動の充実を図る。
- ☆観察・実験結果を整理し、自然の事物・現象（日常生活）と関連づけて考察する学習指導を充実させる。

中学校 国語

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回り、特に「活用」について改善が見られる。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 漢字の読み・書きについて課題が見られる。
- ☆言語活動を設定した授業づくり、読書活動の推進、さまざまな図書資料を活用した授業の充実を図る。
- ☆漢字や語句、文法、表現技法等の確実な習得のための方策を学校全体で整え、実践していく。

中学校 数学

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年度課題のあった「活用」において、改善が見られる。
- 「平面図形、空間図形」の問題において課題が見られる。
- ☆問題解決的な学習（数学的活動）の充実により、生徒が問題解決に向けて主体的に考えたり説明したりする場面を設定する。
- ☆実感を伴う操作活動を取り入れ、「図形」の特徴についての理解と技能の習得を図る。

中学校 理科

- 「知識・活用」において偏差値50を超えている。
- 観点別には、「観察・実験の技能」、領域別では、「身近な物理現象」「大地の成り立ちと変化」に課題が見られる。
- ☆課題解決に向けて、生徒が見通しを持って思考を進めていく学習指導を充実させる。
- ☆実験・観察結果を言語化して、考察、説明する学習や協働的な学習を充実させる。

中学校 英語

- 「知識」「活用」とも偏差値50をわずかに下回っているが、昨年度より差が縮まり改善傾向がみられる。
- 「リスニング」「長文の読み取り」に課題が見られる。
- ☆実生活に関連した課題などを通じて動機づけを行い、生徒の学びに向かう力を育成する。
- ☆聞く力、話す力を身につけるための学習活動を充実させる。

児童生徒質問紙

- 小・中ともに、規範意識、社会参画、学習習慣、生活習慣のカテゴリーで全国値に比べ良好な状況である。
- ☆ゲームの時間、テレビ・ビデオの視聴時間は、依然多く、スマートフォン等の取扱も含め、保護者とともに考え、対応する必要がある。